

R1.8.1(木) 埼玉 P13

長瀬の民有林で 初業務の森林整備

秩父地域コンパクト

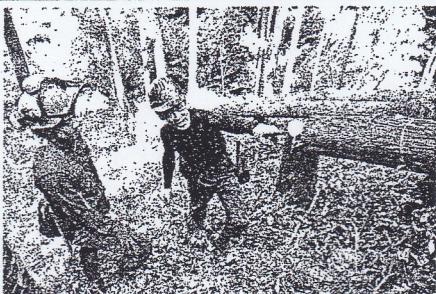
林業推進協議会

秩父地域コンパクト林業推進協議会は7月28～31日、長瀬町井戸の民有林で、初の業務としての森林整備を実施した。

同協議会は間伐などを自ら行つ自伐(じばつ)型林業者を中心として1月に設立。同林業は山への負荷を最小限にとどめつつ、山からの恵みを享受して経済的にも自立する、小回りが利き熱意がある新たな林業モデルと定義している。

29日には会長の山口能邦さん(38)や市地域おこし協力隊の大熊浩史さん(29)、会員の湯本仁亨さん(32)、張本高弘さん(54)が参加。講師は原田

勤さん(48)が務め、実際にスギやクヌギを伐採しながら技術を丁寧に教えた。山口さんは「木を切って出して終わりにするのではなく、会員を育てながらこれらの山づくりについても考えていいきたい」と話していた。(桜井和憲)



伐採方法について指導する原田勤さん(中央)=29日午前10時20分ごろ、長瀬町井戸の民有林